



G 7 男女共同参画・女性活躍担当大臣会合について

令和5年1月31日
内閣府男女共同参画局

1. 開催趣旨

2023年に日本が議長国を務めるG7におけるジェンダー主流化の流れをより強固なものとするとともに、我が国の男女共同参画・女性活躍に関する取組の国際社会への発信及び一層の進展の契機とするため、G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合を開催する。

2. 開催地

栃木県日光市

3. 日程

2023年6月24日（土）・25日（日）

（参考1）G7における男女共同参画大臣会合について

2017年（議長国：イタリア）に初開催。以降、コロナ禍による中断もありつつも継続的に開催。日本における開催は2023年が初めて。

2022年会合はドイツ（ベルリン）にて10月13日（木）・14日（金）に開催。

（参考2）2023年会合の正式名称

G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合

G7 Ministerial Meeting on Gender Equality and Women's Empowerment in Nikko, Tochigi

（参考3）G7参加国

日本、イタリア、カナダ、フランス、米国、英国、ドイツ、EU

2022年独会合の様子



ワーキングセッション



共同宣言採択

（参考）栃木県日光市について

栃木県及び日光市の位置



栃木県日光市の写真



いろは坂



華厳の滝



中禅寺湖



東照宮（陽明門）

G7サミット及び閣僚会合におけるジェンダー主流化

令和4年12月15日 男女共同参画会議
岸田文雄内閣総理大臣発言

(首相官邸HPより)



本日は、新しい資本主義の中核である男女共同参画・女性活躍を今後更に推進していくためのキックオフとなる議論を行いました。

男女共同参画・女性活躍は、生産性の向上や革新的なビジネスの創出といった面のみならず、厚みのある中間層や力強い消費経済を実現するためにも、必須の取組です。

来年6月をめどとする女性版骨太の方針2023の策定、さらにはG7の開催も見据え、政府を挙げて、以下の3点に取り組めます。

第1に、女性の経済的自立に向けた取組を更に強化していきます。男女間賃金格差の是正、女性に多い非正規雇用労働者の待遇改善や正規化の促進、リスクリング、女性デジタル人材や女性起業家の育成、仕事と子育てを両立できる環境の整備など、あらゆる角度から取組を進めてまいります。

第2に、女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた取組を抜本強化いたします。女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会の実現は、男女共同参画・女性活躍の大前提です。特に、配偶者暴力については、被害の深刻化や多様化が懸念されています。DV対策の抜本強化に向け、配偶者暴力防止法の改正法案の早期の国会提出に向け、準備を加速いたします。

第3に、G7サミット及び各閣僚会合において、ジェンダーの視点を取り入れた議論を進めます。国際社会において、ジェンダー平等の観点をあらゆる政策や制度に反映するジェンダー主流化の重要性が共有される中、G7においても、こうした視点を取り入れ、更に発展させていきます。

小倉大臣を先頭に、関係閣僚においても、以上3点について、本日の議論を十分に踏まえ、積極的に取組の具体化を進めてください。